

## II 平成 24 年度 活動計画（案）

## Ⅱ 平成 24 年度（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）活動計画（案）

### ① JMS 推進機構の活動

#### 提案 1. JMS を推進する活動

##### （1）当たり前のこと実践豆知識 第 4 集・5 集 合同発刊報告会の開催

###### 「開催主旨」

第 4 集および第 5 集制作のテーマである「売れるモノづくりを実現するマネジメント人材の育成」について、現場実践研究会の取組事例「海外拠点におけるマネジメントを担う人材育成」の解説、ならび基調講演を通じて、力強く発信し、広く活用を促す。

###### 「狙い」

現場が持つ「当たり前」を強みにして如何に直面する問題を解決し、新たな強みである「当たり前」を獲得するか、を研究事例発表の形式で発信する。

###### 「開催予定」

平成 24 年 10 月頃に開催予定

###### 「参加目標」

約 150 名規模

###### 「内容」

- 1) 現場実践研究会にテーマをご提供頂いた NEC アクセステクニカ(株)様の事例報告。
- 2) 海外拠点についての現場マネジメントについて豊富なご経験を持つ企業人による基調講演。

##### （2）JMS 推進機構 組織の拡充

「現状」

賛助会員 10 社 会員 9 社

「目標」

理事に選任される資格を持つ「賛助会員」を 3 社増員する

「担当」

推進機構事務局

## 提案 2. JMS を進化させる活動

### (1) 現場実践研究会による相互研鑽の継続

「現状」

平成 20 年度の日野自動車見学以来、企画委員各位の協力の下、現場見学の機会を増やしてきた。こうした活動が「実践豆知識」という形で JMS 普及の土台作りに貢献している。一昨年度発足した現場実践研究会により、企画委員の積極的な参画が得られるようになった。

JMS 制定活動時に立ち返ったような、現場での議論を基本とした活動は、委員各位にとっても意義深いものだという意見が寄せられている。

「狙い」

平成 24 年度も継続して、企画委員会において、「**現場実践研究会**」という形式で、各社の優れた事例や問題点や課題について現場を見学し、討議することを通じて、委員相互に高め合うことを活動の柱とする。この活動の成果として、以下(2)および(3)を位置づける。

「目標」

- 1) 企画委員各社あるいは関連する企業の実際の現場を回り、現地現物で事例に

あたり、気づきやアイデアなどを交わし、高め合う。

- 2) 3ヵ月に1回のペースで見学し、その場で討議、討議内容をまとめて以下に計画の(2)「実践豆知識制作」(3)「課題達成のためのマネジメントポイント集制作」の活動に結びつける。

※ 5/10 (株)デンソー技研センター 見学実施 18名参加。

「担当」

推進機構企画委員会、テーマを研究するのに相応しい委員各社の人材、JMSコンサルタント、推進機構事務局

## (2) 当たり前のこと実践豆知識による「行動・実践」の促進

「現状」

実践豆知識については、企画委員会における「現場実践研究会」の活動結果をまとめ、「当たり前のこと」を中枢概念として内容を編集し発信。

「狙い」

現場実践研究会の活動を通じて、日本のモノづくり現場での身近な事例を取材・研究し、『身近で具体的なアクションのわかるもの』として実践豆知識にまとめる。

「目標」

企業が継続的に発展していくために不可欠な「改善」を進める上での行動を豊かにする「具体的な切り口」を示す事例を提供する小冊子の制作。本年度は、上期活動を「第5集」としてまとめ、下期からの活動は、「第6集」として来年度に制作する。

「担当」

推進機構企画委員、JMSコンサルタント、推進機構事務局

## (3) 特定課題達成のための現場の「行動」を如何に管理するかのポイント集制作

「狙い」

重要業績評価指標を遂行するためのマネジメントポイントを再編成し、それらについて「管理をするための行動」について例示しまとめる。

「目標」

本年度後半の「現場実践研究会」活動でまとめ、来年度秋季に発表会を開催する。

「担当」

推進機構企画委員、JMSコンサルタント、推進機構事務局

## ②中産連のJMS推進活動

### 広報・企画開発に関する活動

企業の競争力を生み出す源泉である生産技術をテーマに、平成24年2月「JMS制定10周年特別講演会」での日野自動車(株)蛇川相談役の基調講演でのご提言を参考にしつつ、生産技術に関する根本的な考え方、各段階のプロセス、良いアウトプットが出る計画・仕組み・マネジメントのあり方について改めて検証すべく、研究会を念頭に置いた次世代生産技術者育成プログラムを6月28日より実施。JMS関連セミナーについても、6月27日「生産技術編」、7月19日「現場管理と改善編」を皮切りに、適時企画・開催の予定。